

■進捗状況

短大中項目 1 - 2

公開日：2025年 6 月

分野	項目名
短大	学生支援
内容	
<p>豊かな教養を身につけ、充実した学生生活を送るための支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SLS（スチューデント・ライフ・サポート）セミナーの充実 ・寮生活支援の充実 ・障がい学生支援の充実と体制整備 	
	取組状況
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> ・SLS（スチューデント・ライフ・サポート）セミナーについては、これまでの内容等を再検討し、多くの短大生が豊かな教養を身につけられるよう充実・発展に努めた。 ・寮生活支援については、寮生一人ひとりの支援を充実させ、教職員による寮生活アドバイザー制度を検討し、試行的に開始した。 ・障害者差別解消法の改正を踏まえ、障害を持つ学生の支援をさらに整備・充実できるよう検討を開始した。本年度は、本学の障害者支援の現状を掌握し、規程制定に取り組んだ。
2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・SLS（スチューデント・ライフ・サポート）セミナーについて、多くの短大生が豊かな教養を身につけられるよう内容の充実に取り組んだ。例年開催の内容に加え、「輝く女性育成推進企画セミナー」と共催して、短大生だけでなく、短大卒業生・東西の創価学園女子生徒にもオンライン等を利用して参加できる機会を提供した。 ・教職員による寮生活アドバイザー制度の試行実施を検討してきた。本年度は、コロナ禍の状況を見つ、具体的な実施に向けての検討を進めた。 ・新たに制定した「創価女子短期大学障害学生支援規程」、「創価女子短期大学障害学生支援室管理運営規程」に基づき「障害学生支援室」を開室した。障害を持つ学生の修学および学生生活についての相談、授業における合理的配慮の申請を受け付けるなど、整備・充実に取り組んだ。
2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・SLS（スチューデント・ライフ・サポート）セミナーについて、多くの短大生が豊かな教養を身につけられるよう内容の充実に取り組んだ。例年開催の内容に加え、「輝く女性育成推進企画セミナー」と共催して、短大生だけでなく、短大卒業生・東西の創価学園女子生徒にもオンライン等を利用して参加できる機会を提供した。 ・寮生一人ひとりに対しての支援の充実のため、教職員による寮生活アドバイザー制度の具体的な実施に向けての検討を進めた。 ・昨年度に「障害学生支援室」を開室し、障害を持つ学生の修学および学生生活についての相談体制を整えた。本年度も授業における合理的配慮の申請の受付・相談を行い、適切な支援に努めた。

2024年度	<p>・課外で実施している「SLS(スチューデント・ライフ・サポート) セミナー」について、多くの短大生が豊かな教養を身につけられるよう内容の充実に取り組んだ。例年開催の内容に加え、本年度も「輝く女性育成推進企画セミナー」と共催して、短大生だけでなく、短大卒業生・東西の創価学園女子生徒にもオンライン等を利用して参加できる機会を提供した。</p> <p>・寮生一人ひとりに対しての支援の充実のため、教職員による定期的な懇談会を開催し、残寮生と意見交換をしながら、寮生の支援を進めた。</p> <p>・「障害学生支援室」を中心に、障害を持つ学生の修学および学生生活についての相談に乗り、対応を行った。本年度も授業における合理的配慮の申請の受付・相談を行い、適切な支援に努めた。</p>
2025年度	
2026年度	
2027年度	
2028年度	
2029年度	
2030年度	

事業計画 1 - 2 - 5

達成度 A・・・達成 B・・・一部達成 C・・・未達成

計画名	SLSセミナーの充実					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		B	

事業計画 1 - 2 - 6

計画名	寮生活支援の充実					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	C	2025年度		2028年度	
	2022年度	C	2026年度		2029年度	
	2023年度	C	2027年度		2030年度	
	2024年度	C	最終目標からの達成度		C	

事業計画 1 - 2 - 7

計画名	障害学生支援の充実と体制整備					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度	A	2027年度		2030年度	
	2024年度	A	最終目標からの達成度		B	